

Point 1
薄い仕上がり厚さ

従来工法の仕上面

硬質ウレタンフォームの優れた断熱性能と、躯体に密着する接着工法により仕上がり厚さが薄くなり、室内空間を広くとることができます。

NDパネルの仕上面

Point 2
シンプルな施工

コンクリート壁に張り付けるだけで、断熱結露防止と仕上げ下地の工事を同時に実現することができます。部分的な断熱リフォームにも適しています。

Point 3
内装制限のある部位に

準不燃材料です。
台所など消防法・建築基準法における内装制限のある部位にご使用いただけます。

硬質ウレタンフォーム 厚さ(mm)	準不燃番号
10、15	QM-0455
20、	QM-0762

アキレス準不燃NDパネルノンフロンの製品規格

厚さ (mm)		幅 (mm)	長さ (mm)
石膏ボード (ベベルエッジ)	断熱材 (硬質ウレタンフォーム)		
9.5	10、15、20、	910	1820

アキレス準不燃NDパネルノンフロンの施工方法 (接着工法)

Step 1. 下地処理

下地の条件
下地の不陸、目違い、突起や凹凸がなく、平滑になっていることが必要です。(1.8mスパンで2mm以内とする)
平滑でない場合は、均しモルタル等で条件に適合するように調整ください。

付着物の除去
下地に接着の妨げとなるようなホコリ、油や錆などが付いているときは取り除いてください。

Step 2. 接着剤の塗布

接着剤の塗布
接着剤メーカー推奨のコテを使用して、パネル裏面に図の通り格子状に塗布してください。

<塗布量>
550~600g/m²を目安としてください。

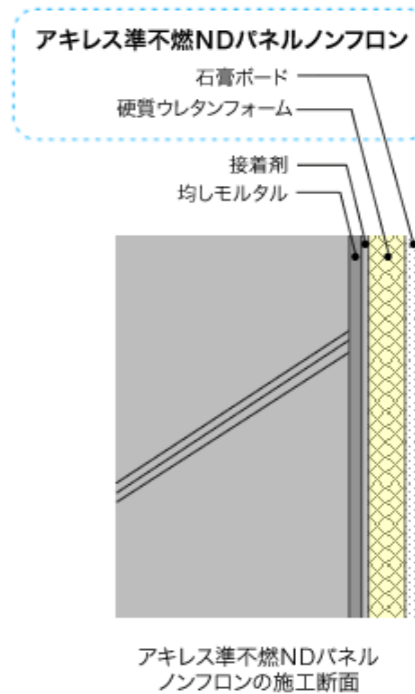
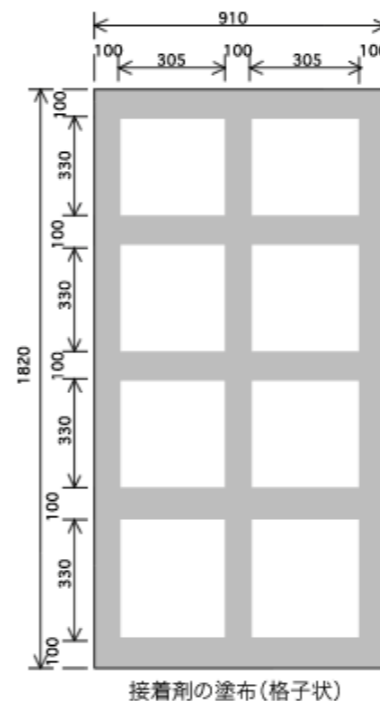
推奨接着剤

製品名	会社名
KMP10	コニシ(株)
PMS25	セメダイン(株)
MS-850	(株)タイルメント

*上記はすべてJIS A 5547 F☆☆☆☆認定品
*その他、接着条件につきましては、接着剤メーカーの注意事項に従ってください。

Step 3. 圧着

張り付け後は、一枚毎に当て板をして、中央部から端部へ均等に木槌などでたたき込み、十分に圧着してください。



アキレス準不燃NDパネルノンフロンはG L工法^{*1}、下地組工法^{*1*2}による施工も可能です。

^{*1}内部結露を防止するために、躯体とNDパネル間の中空部分に室内の湿気が回り込まないよう、パネル四周を密閉するなどの配慮が必要です。

^{*2}くぎまたはビス等で留め付ける際はフォームの潰れによる段差が生じないようにご注意ください。